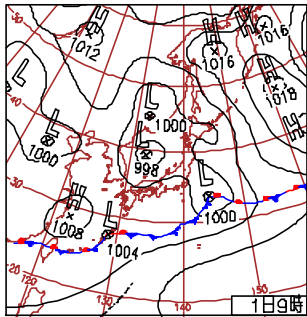


2002年 6月

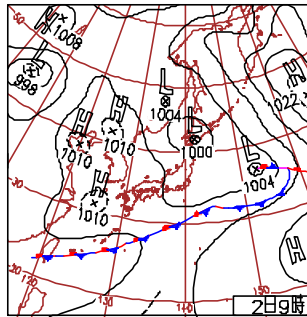
- 17日、低気圧が東シナ海から九州の南海上へ進み、種子島で160mm、屋久島で254.5mmの日降水量を観測するなど、九州南部で大雨。
- 29日～30日、本州南岸に停滞する前線を低気圧が相次いで東進し、29日潮岬で192mm、30日阿久根で216.5mmの日降水量を観測するなど、本州南岸の所々で大雨。

(気象庁予報部予報課)



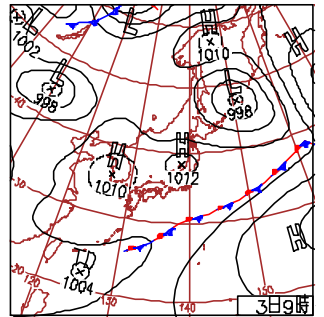
1日(土) 127回気象記念日

京都・岡山・熊本などで真夏日、日田市で31.7。全国的に晴れたが、北海道東部は霧、午後は関東でわか雨や雷雨の所も。1875年のこの日に気象観測を開始。



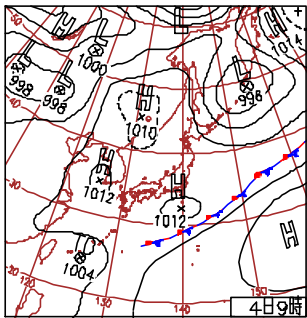
2日(日) 梅雨も一休み

北海道を寒冷低気圧が東進、一部で雷雨。梅雨前線は沖縄の南にあって、梅雨も一休み。関東では、甲府、熊谷で今年2度目の真夏日となったが、東京は最高気温29.7。



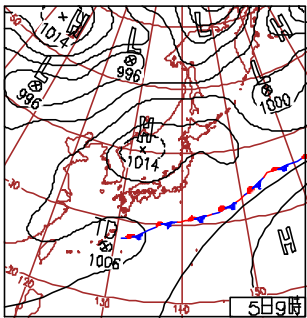
3日(月) 北日本上空に寒気

北日本上空に寒気が残り、大気不安定。北海道では雲が多く所々でわか雨。東・西日本は高気圧に覆われて晴れた。都城市33.1をはじめ西日本中心に各地で真夏日。



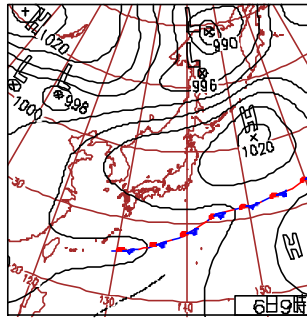
4日(火) ほぼ全国的に晴れ

日本付近は移動性高気圧に覆われ、全般に晴れた。沖縄では熱帯低気圧の影響で曇り。関東以西では、各地で真夏日となり、今季一番の所もあった。



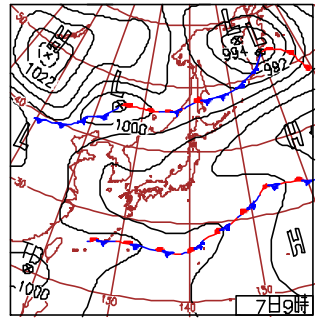
5日(水) 東京で真夏日

高気圧に覆われ全国的に晴れて気温高め。関東は7月下旬並みの気温だが、上空の寒気の影響で午後は所々でわか雨や雷雨。東京は最高気温30.7で今季初めての真夏日。



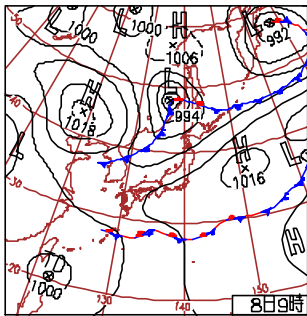
6日(木) 真夏日続く

高気圧に覆われて全国的に晴れ。西日本や関東の内陸部で真夏日続き、日田市で今年の最高35.5。熊本35.4は6月の極値更新。



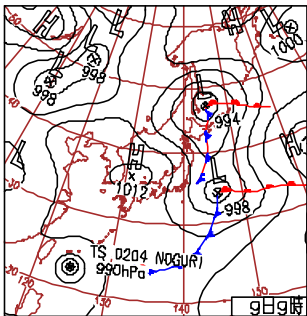
7日(金) 西日本は真夏の暑さ

気圧の谷の影響で北海道では雨。本州は高気圧に覆われ晴天続く。西日本と関東の内陸では昨日に続いて、真夏日となった。熊谷では今年の最高気温32.1を記録。



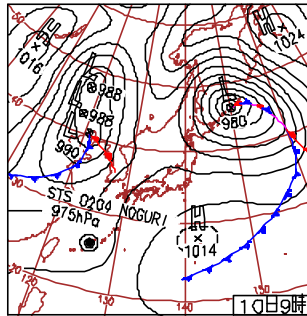
8日(土) 台風第4号発生

東海上に中心を移した高気圧が日本付近を覆い全国的に晴れ、各地で真夏日を記録。北海道枝幸町31.3は6月の1位。15時石垣島の南南西海上で台風第4号が発生。



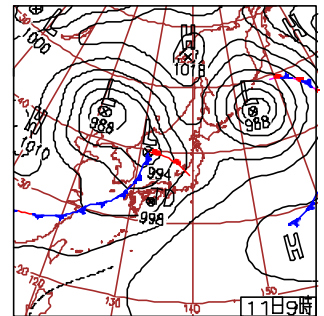
9日(日) 東京最小湿度16%

関東地方を朝のうち寒冷前線通過。その後、本州は日本海にある高気圧に覆われ晴れ。関東以西の各地で真夏日。乾いた高気圧で東京の最小湿度は6月の極値更新。



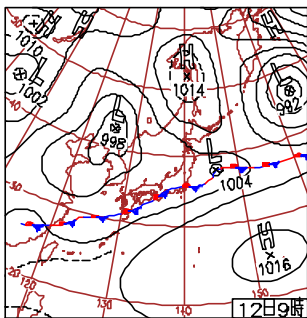
10日(月) 九州地方梅雨入り

大陸から低気圧東進し九州は梅雨入り。近畿・中国は真夏日、豊岡で最高気温34.5。台風第4号が沖縄本島の西海上を北上、宮古島は台風的眼に入る。



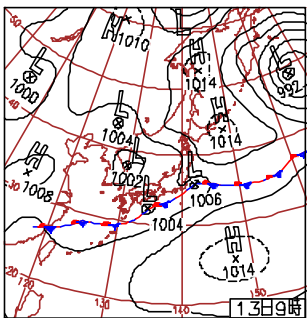
11日(火) 四国・本州も梅雨入り

台風第4号は6時宮崎県沖で熱帯低気圧に変わった。日本海の低気圧と熱帯低気圧の通過で、各地とも曇りや雨。立山・箱根などの山間部で100mm前後の雨量。



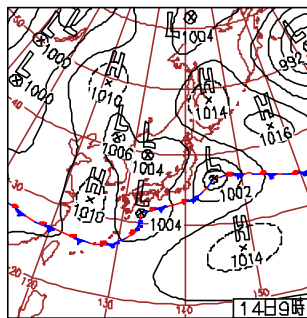
12日(水) 南岸に梅雨前線停滞

関東地方南部から、本州南岸に梅雨前線が停滞し、本州の太平洋側では梅雨らしい曇りや雨の天気となった。沿岸部中心に霧が発生し、伊豆諸島北部や静岡県では濃霧注意発表表。



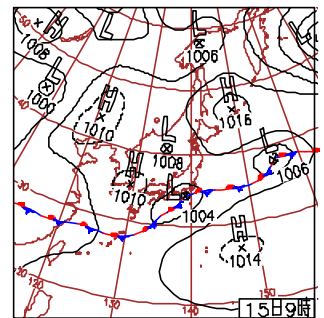
13日(木) 前線引き続き停滞

日本海側で晴れた所もあるが全国的に曇りや雨の所が多かった。北海道、東北から関東にかけての太平洋側は肌寒い天気。沖縄、来月1日からの夜間給水制限を決定。



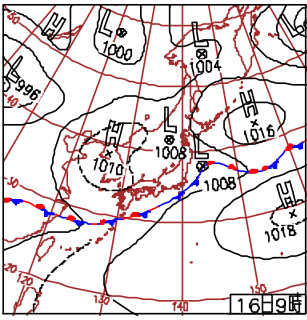
14日(金) 真夏日と梅雨寒

梅雨前線日本の南に停滞。前線上の低気圧午前中には関東の東へ。北日本は寒気入り梅雨寒。西日本は日本海側で晴れ間広がり、真夏日。サッカーW杯、日本勝利で決勝リーグへ。



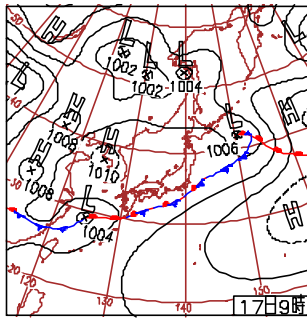
15日(土) 関東南部で雷雨

日本海には、上空に寒気を伴った低気圧があり、東日本は大気の状態が不安定。朝方の雷雨により関東南部で大雨警報。沖縄本島は梅雨前線により100mm以上のまとまった雨。



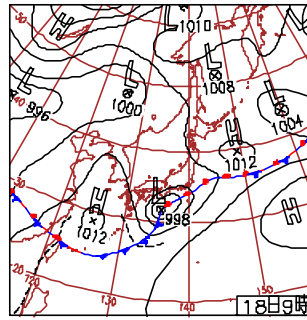
16日(日)日本海側晴れ

本州の南岸に梅雨前線が停滞。黄海の高気圧がゆっくり東進し、西日本や北日本の日本海側は梅雨の晴れ間で真夏日が続く。太平洋側は梅雨空、梅雨寒の天気。



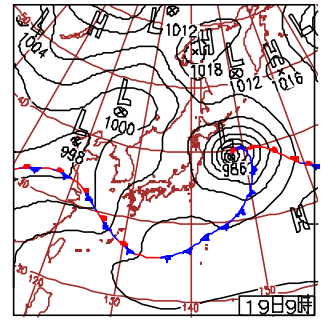
17日(月)東シナ海に低気圧

梅雨前線は本州の南岸に停滞し、本州は全般に曇り空。東シナ海で低気圧が発生し、発達しながら東進。このため九州南部地方の種子島・屋久島に大雨情報発表。



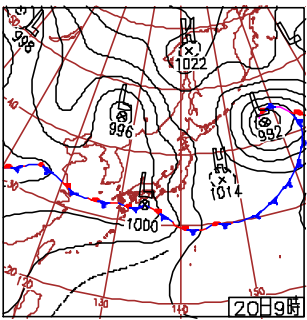
18日(火)南海上で低気圧発達

南海上の前線を低気圧が発達しながら東進。伊豆諸島に大雨警報、新島11時までの1時間に49mmの激しい雨。サッカーW杯、日本はトルコに0-1で敗れ、準々決勝進出はならず。



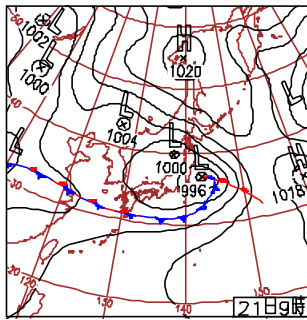
19日(水)東京8日ぶりの晴れ

発達した低気圧の通過後、本州付近は高気圧に覆われ、九州から東北地方にかけ晴れ間広がる。これらの地方の一部で真夏日。北海道・沖縄の一部で雨。



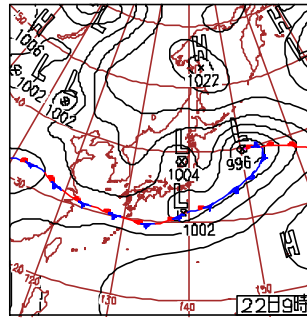
20日(木)鹿児島大雨洪水警報

低気圧の東進に伴い西・東日本で雨。鹿児島県で日降水量100mm以上。北海道、南西諸島では概ね晴れ。千葉県で震度3の地震。



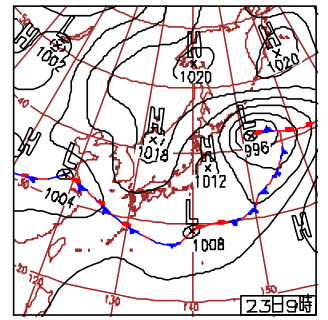
21日(金)沖縄梅雨明け

日本海と三陸沖を低気圧がゆっくり東進。北日本と九州南部は雨、関東以西は晴れ。北日本は気温が低く、5月中旬から下旬並み。北海道に低温に関する情報。



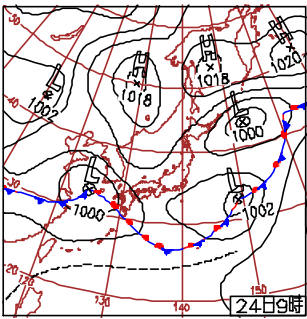
22日(土)東日本でやませ

梅雨前線は、北海道東海上の低気圧から、九州の南を通り、華中に伸びる。朝方に関東南部で雷雨。東日本は北東気流が続き、梅雨寒傾向。



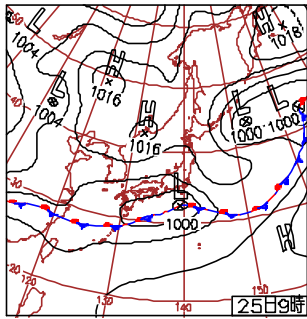
23日(日)梅雨寒続く

日本の東にある低気圧から延びる前線が、伊豆諸島の南を通り東シナ海に達する。所々で弱い雨。昨日臨時火山情報が出た浅間山の地震活動は少し落ち着いたが平常よりは多い。



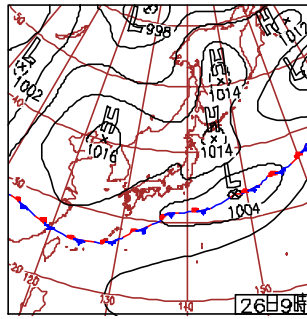
24日(月)真夏日と降雪

西日本では低気圧と前線の接近で雨。東日本以北は全般に曇り気温低め。北海道東部の山間部では季節外れの雪。一方、那覇では最高気温33.7、今期一番。



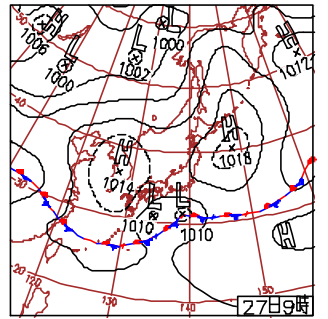
25日(火)東北地方に低温情報

梅雨前線は南海上に停滞。北海道を除いて曇りや雨の天気。気温は沖縄を除いて低め、仙台では最高気温が平年より8.3低く4月中旬並み。北海道東部で最低気温氷点下。



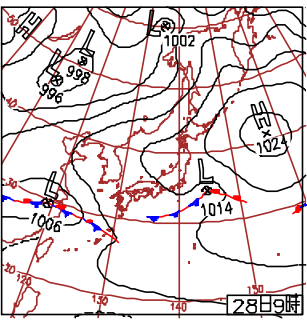
26日(水)北高型顕著・梅雨寒

朝鮮北部とオホーツク海に冷たい高気圧、本州南岸に梅雨前線停滞。北海道、東北部、山陰、九州北部で晴れた他は、南西諸島除き全国的に低温傾向続く。



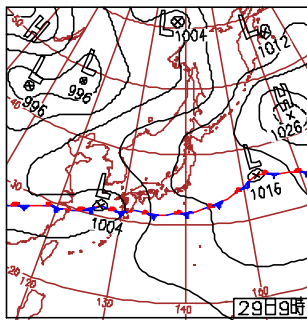
27日(木)関東地方に寒気滞留

北東気流が入った関東は雨が続き、前橋では最高気温が平年より8.8低い17.0どまり。晴れた北海道や西日本では気温が戻り、札幌では最高気温が25.1の夏日。



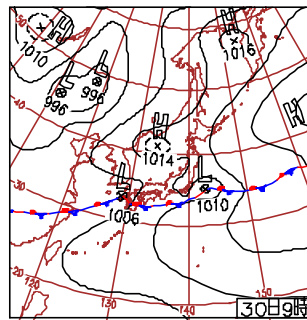
28日(金)梅雨の晴れ間

高気圧に覆われた北・東日本は晴れたが、西日本の太平洋側を中心に雲が多く、前線に近い九州南部・奄美・四国の一部で雨となり、名瀬で12時までの1時間に35mmの激しい雨。



29日(土)台風2個発生

梅雨前線の活動活発化し北上。近畿以西では大雨。所々で1時間に40mmを超える短時間強雨。富士山の積雪ゼロの報告あり。台風第5号、第6号発生。



30日(日)奄美梅雨明け

梅雨前線が九州で活発化、鹿児島・熊本・宮崎で日雨量180mm以上、鹿児島県宮之城町で11時までの1時間に74mm。W杯決勝戦の横浜は弱い雨模様。